らんこし Rankoshi

2019 5 May

No.765

▲4月24日　青空の中、蘭越保育所の園児を対象に、交通安全婦人指導員らにより、前期交通安全教室が行われました。

主な内容

■ ご入学おめでとうございます ‥‥1
■ ニセコ連峰歩くスキー大会 ‥‥2
■ 蘭越町議会議員選挙 ‥‥3
■ 蘭越高校通信 ‥‥10
■ こぶしにまなぶ ‥‥15
ほか

広報らんこし
5月号
●発行日/令和元年5月15日●通算/765号●発行/蘭越町●住所/〒048-1392北海道磯谷郡蘭越町蘭越町258-5(TEL0136-57-5111)●編集/総務課広報広聴係●印刷/㈱総北海
●ホームページ http：//www.town.rankoshi.hokkaido.jp/　●Eメール kouhou@town.rankoshi.lg.jp

わがやのアイドル

名　　前　藤原　一心（いっしん）ちゃん　1歳3ヶ月
生年月日　平成３０年　1月２５日
ご 両 親　章倫さん、早苗さん
一つの事に集中して、一心不乱に成し遂げる力をつけて欲しいと思い、名付けました。帝王切開での出産予定で、パパも帯広の病院に来てくれて、出産後すぐに立ち会えました。本を引っ張り出すことがマイブームで、好きな食べ物はサツマイモ、にんじん、おにぎり。大きな音がニガテです。
お子さんへメッセージ　そろそろ歩く姿を見せて欲しいです！

ちびっこぎゃらりー

～昆布保育所～

作品「春がきた！！」

ひまわり組

みうら　めい ちゃん（5さい）
たけち　はじめ くん（5さい）

今シーズンのクリオネ漁は？

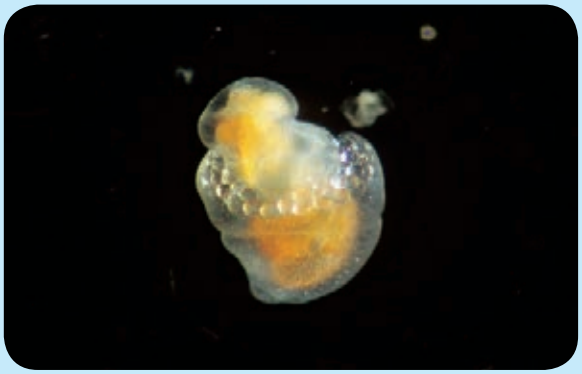
オホーツク沿岸で見られるクリオネは、今シーズン、とても少ないことがわかりました。過去15年分のデータと比較しても、最もクリオネが見られない年でした。

そこで、原因について調べると、オホーツク海の北からやってくる海流が、オホーツク沿岸に接岸していないことがわかりました。このことは、海水の水温と塩分から解りました。いったい、オホーツク海沿岸で何が起こっていたのか。海水のデータを見ると、日本海の海洋深層水が表層に湧き出て、サハリンと稚内の間にある宗谷海峡を渡り、オホーツク海沿岸を覆っていることが解りました。

日本海の海洋深層水は、オホーツク海沿岸を覆うほど湧き出る例は少ないのですが、なぜ、このようなことが起こったのでしょうか。仮説として、北極の氷が地球温暖化によって多く溶けたことが原因と考えました。氷が溶ける時は、冷たい冷気も放出されます。昨年度は、その冷気が日本まで達し、日本海の表層を冷やしました。冷えた海水は、密度が高くなるので、下へ沈み、海洋深層水になります。日本海は、おわん状になっているため、海洋深層水を蓄える量に限度があります。よって、あふれ出た海洋深層水は、日本海から太平洋やオホーツク海へ出なければいけません。今シーズンは、その量が多かったため、クリオネが沿岸までやってこられないと考えました。

実は、日本海の海洋深層水に、新種のクリオネが生息していることが知られています。そこで、オホーツク海沿岸で調べると、見事に、日本海の海洋深層水に生息するクリオネが、オホーツク沿岸で見られました。

クリオネは、地球温暖化が生物の分布や、海洋生態系へ与える影響を評価するうえで、重要な生物の一種であることが言えます。



▲オホーツク海沿岸で採取した、日本海の海洋深層水に生息する新種のクリオネ

VEGETABLE OIL INK